

「初等科生活」における「自然学習」の理論

白水完治*・佐藤 登・池上 敏・石川正一**・佐々木瑞枝***・川口政宏

The Study from Nature in "Social-Life" for Lower Elementary School Children.

Kanji SHIRAMIZU, Noboru SATO, Bin IKEGAMI, Shoichi ISHIKAWA, Mizue SASAKI and
Masahiro KAWAGUCHI.

(Received November 19, 1993)

キーワード：生活科，自然学習。

I はじめに

栽培・飼育あるいは動植物の観察行為を通して「自然」に何を学ぶかは，個々の自然観と感性の上に立脚すると考えられる。管見ではあるが，我が国最古の文字に残された記録と言われる古事記¹⁾に，仏教伝来以前の古い日本人の自然観を窺うと，ここでは自然の万物には全て神が宿り，人は現世と神の世界（自然）を自由に往来する。人間の開かれた感性もまた「脂の如くして，海月なす漂へる」程，混沌として自然の中へ溶け込んで行く。生ける人間も死後の世界さえも「自然」とする考え方は，我が国のみならず東洋の「自然観」²⁾には多く，仏教思想とも融和して独特の東洋文化を形成して来た。これに対し，西欧の思考には「自然」と「人間」が並立もしくは対立するとする³⁾，別の哲学が存在する⁴⁾。このような「人間と自然は対立する」考えは，宗教と自然科学の発達を促し⁵⁾，哲学・芸術の分野にも大きな影響を与えて⁶⁾，今日の文化を築いて来た。しかし，科学や経済を万能とする「人為至上」的な思想に裏打ちされた「自然観」は，一方で豊かな情感や感性を蝕みつつあることも事実である。ともすれば，科学的知識（理科）教育の対象と捉えられ勝ちな動植物に，感性の真摯な目を向け，「自然」に「学ぶ」ことは，「教育の再構築」をめざして発足した²¹⁾「生活科」の担わねばならない条件と言えるのではないだろうか。

II 飼育の体験の実際

栽培と飼育は経験したことのない者には，何か難しい技術のようにとらえられている。事実「栽培原論」だの「家畜飼育学」だのと称する専門書には，難しい化学記号の羅列の上に，「水持ちが良く，水はけの良い土壤に植える」とか，「疾病予防のための餌の与え方」とかが並べられて，素人には難解極まりない。しかし，生産物からの利潤を期待しなければ，栽培・飼育は誰にでも出来る簡単なことである。土を耕して種子を播けば雨が降り，根は水分と栄養を吸収して，やがて花が咲き実を結ぶ。動物の飼育も簡単で，動物が餌と水を摂り出来るようにしておくだけで殆どの動物は飼育出来る¹⁹⁾。野性の動物に至っては更に簡単で，人間は見守るだけで，動物達は自ら餌や水を摂り，育って行く。（現在の野性動物保護は，餌を与えること，傷ついた動物を保護治療することも反自然的

* 山口大学農学部附属家畜病院

** 山口女子大学附属幼稚園

*** ザ・馬洗座（影絵集団）

行為として禁止する傾向にある。問題は飼育行為にあるのではなく、動植物との触れ合いの中に何を感じ、学ぶかにあるのだが・・・)まず、現在の大学生はどの程度、動物飼育の原体験を持つのであろうか？平成五年「初等科生活」の授業で行ったアンケート調査の成績を元に、この章を展開して行こう。

〔設問〕

飼育経験のある動物種類名（5種まで）と、与えた餌を記入して下さい。

アンケート回答の集計成績

動物名	経験者数（人）	百分比（%）
プラナリア	1	2.3
カブトムシ	10	23.3
スズムシ	3	7.0
クワガタ	3	7.0
チョウチョ	4	9.3
蟻	1	2.3
ゴキブリ	1	2.3
カマキリ	1	2.3
昆虫の幼虫	3	7.0
カニ	1	2.3
ザリガニ	6	14.0
メダカ	2	2.3
金魚	27	62.8
鯉	7	16.3
蛙	1	2.3
蛇	1	2.3
亀	10	23.3
オタマジャクシ	1	2.3
アヒル	2	4.7
鳩	1	2.3
インコ	25	58.1
鶏	8	18.6
文鳥	2	4.7
ちゃぼ	3	7.0
目白	2	2.3
十姉妹	3	7.0

雑	2	2.3
ハムスター	9	20.9
兎	10	23.3
猫	15	34.9
犬	28	65.1
牛	1	2.3
マリモ	1	2.3

〔成績の解説〕

回答者数43名から195 の回答が得られた。全員が五種類の動物名を記入した場合、回答数は215 となるから回答率は90.7% と算出される。従って全員一応4種類以上の動物を飼育した経験を持つことがわかる。（マリモは植物であるが、水槽内で飼育したと勘違いしたものとみなし、動物の範囲に入れた）

飼育した動物は、なんと言っても伴侶動物の犬が多く、28人（65.1%）が飼育の経験を持っている。次は僅差で金魚、更にインコと続き、これら三者が50%以上の飼育経験率を持つ動物の御三家である。第四位は猫、さらに20% 台まで率を下げて、兎、ハムスター、亀、カブト虫が登場してくる。

最初に飼育経験の率から類推すると、今の大学生の平均的な姿は犬・金魚・インコ・猫と、兎・亀・カブトムシのいずれかを飼育した経験を持つことが理解される。これら動物の飼育方法を具体的に考えてみると、伴侶動物の犬と猫は家庭内で飼育されたものとして差し支えなかろう。犬に近い率を示した金魚とインコの飼育については、設問に飼育場所を問わなかったため、家庭内かそれ以外の施設か判別できないが、筆者の診療経験から（犬の受診率を5とすると、猫は2-3、小鳥の類は1以下である）インコの飼育経験の半数以上は家庭内以外、保育園・幼稚園・小学校での飼育であることが明らかにされる。

²³⁾ また、魚類は獣医業の範疇に含まれないために更に成績の読解が困難となるが、金魚や鯉の餌がコンビニエントストアーに置いてない（ドッグフードとキャットフードは大抵の店に置いてある）所をみると、家庭内での飼育率はインコ・猫と大差ないであろう。兎は完全に施設飼育動物化しており²³⁾、鶏同様一般の家庭内からはその姿を消してしまった動物である。

次に動物の種類と特性から飼育の状況をみてみよう。愛らしい伴侶動物として、昔から親しまれて来た犬²⁵⁾ が最高位であることは当然と言える。しかし、犬と猫と一緒に飼う家庭は少ない。犬は狩猟民の家畜、猫は農耕民の家畜として歴史を持つためか、犬と猫は元来相性が悪く、一つ家庭で二者を飼育する場合、犬が屋外猫は室内と分けて飼うのが普通である。猫と金魚、猫と小鳥、犬と兎の組み合わせも同様で、この二者と一緒に飼育することは中々困難なことである。また、最近の住宅事情を反映してか、広い飼育場所が必要で鳴き声が問題になる家禽類は敬遠され、声を立てない魚類が飼育される傾向にある。

今回、与えた餌に関しては集計しなかったが、記入された餌のほとんどが、〇〇の餌と言った市販の調合飼料であった。犬はドッグフード、猫はキャットフード、金魚の餌、

鯉の餌、亀の餌、カブトムシの餌、クワガタの餌等々である。流石に兎の餌に関しては、固形飼料と回答したものの他に、タンポポ・キャベツ・ニンジン・サツマイモ等と答えたものがあつた。しかし、中にはモンシロチョウにキャベツの葉を食べさせたとする御迷答もあつた。（理科の教科書にモンシロチョウはキャベツ等の葉っぱに卵を産みつけるとあつたことから連想したらしいが、蝶は葉を食べることは出来ない。観察と発想が貧弱である。）この動物は一体何を食べて生きているか？。食性をさぐる面白さを忘れて、ただ安易に市販の餌を与える文字通りの飼育（単なる餌やり当番）の姿が明らかにされる。

このようにアンケートの結果を解説して行くと、その裏にかくされた原体験の事実がすこしづつ浮き彫りにされて来る。先に今の大学生は4種類以上の動物飼育を体験しているとしたが、家庭内で犬を飼育すれば、他に家庭で飼育出来る動物の種類は自ずと限られて来る。あとは小学校の兎にタンポポをちぎって食べさせたとか、小鳥に水を与えたことがあると言つた程度の体験でしかない。

更に成績の裏に隠されたものを探つて見よう。「昆虫の幼虫」、「オタマジャクシ」それに「雛」と答えた回答がある。これらを育てたなら「モンシロチョウ」、「トノサマガエル」あるいは「チャボ」と言つた成長後の具体的動物種名が書かれる所である。「教材」として与えられた哀れな幼動物達は程無く死亡したのであろう。成長後の姿を知識にさえ留めていない。「理科」の教科書に動物を飼つて見ましようとなつたから、何処からか動物を誘拐して来て、教材屋の持つて来た餌を食わして殺した、殺戮の体験でしかない。

結論が見えて来た。四割近くの者が犬に餌を与えた経験を持たない。八割以上の者がキャットフードでサラダを作って食べると旨いこと知らない。山羊を飼育して山羊の乳で飼育されたような、動物との共生体験は皆無である。吁！

Ⅲ 自然学習の理念

ベイリはその著書「自然学習の思想」の中で「自然学習は理科ではない。それは知識ではない。それは事実ではない。それは精神なのである。それは心のある態度なのである。それは子供の、世界に対する見方に関するものなのである。」と、自然学習を精神の問題に位置付けた。

自然学習と理科教育の違いは「自然観察ハンドブック」⁷⁾のあとがきに「・・・旧来の理科教育の延長のような、単なる種名覚えや、動植物の採集飼育だけでは自然は見えてはきません・・・」と、学習は能動的に学ぶこと、教育とは知識を教えることの違いを端的に述べている。また、自然学習そのものの意義については「対症療法としての運動と、予防医学としての教育活動」と、精神衛生との関連にまで言及し、さらに「自然科学に楽観的な夢を抱く時代は過ぎた」として、自然科学教育から新たな自然学習への転換の必要性を説いている。

昭和三十二年、財団法人「日本自然保護協会」から政府、衆参議員、政党に宛てた「自然保護教育に関する陳情」⁷⁾では、学校教育における自然学習の必要性をより具体的に表明している。「小中学校の学習指導要領には自然愛護の根本精神は一応とりあげていると思われるが、さらにこれに関する具体的な単元を明確に制定し、社会科、理科、国語科ならびに道徳教育などの面において、一層積極的に本件を教育上に強調するように十分御配

慮を願いたい」。この陳情には具体的に社会科，理科の名をあげたところに，あたかも今日の生活科を予期したかの感がある。しかし，この自然学習の必要性を説いた陳情とはうらはらに，昭和三十年以降の日本は，科学技術と自然科学教育を優先し，自然を破壊する高度経済成長路線を歩み続けてついには公害問題として生存環境の破壊を招くに至った。学習を忘れた教育の成果は「失われた夥しい生命」・「環境庁と称する役所」に「自然保護憲章と言う名の紙に書かれた理念」のみとするは，著者のみの偏見であろうか。

教育と同様人間の心の再構築を扱う精神医学の領域では，示唆に富んだ事例が報告されている。「著者の勤務する病棟は，古い木造の平屋で，患者さん達は病棟の回りを勝手に耕して草花等を植えていました。花には昆虫が集まり，さらに昆虫を狙って鳥や様々な小動物が集まって来ます。これらの世話は全部患者さん自身の手で行われていました。ある時病棟が改築されて鉄筋コンクリートの四階に移ると，突然入院患者の治癒率が低下しました。心療内科の治療には薬剤は余り用いられません。患者さん自身の生活態度とか病気に対する考え方が変わらないと心療内科が受け持つ心身症は治りません。患者さん自身もすでにそれに気が付いて，草花を作るなどの自然に親しむ作業療法をやっていた訳です。・・・」心身症の患者や精神科医は，自然と親しむことで病気に対する意識を変え，それが身体の症状さえも治してしまう不思議な力が存在することを認めている。⁸⁾この自然治癒の力とは，漢方医学で言うところの「万物が育って行くための元々の氣」，すなわち「元氣」である。⁹⁾自然界の万物が人におくる意＝「氣」を，感性で捕らえて認識し，知識の座に据える行為は，人間の学習活動そのもので，脳生理学者の考える「生の意欲」¹⁰⁾，心理学や保育で扱う自我の形成^{8・11・12)}，さらには世界各地に残る原始宗教（著者注 シャーマニズム。薬物使用以前の医療術は認識の改変が主流で，同様の行為は現在でも行われている。新聞チラシにある〇〇を飲んで難病が治ったとする体験の殆どがこれであり，さらに現代の心身医療のムンテラ，プラセーボ効果ともにその原理は同一である）の「精霊」とも同じにみなすことが出来よう。

人は感性によって新たな事象を捉え，認識し，自我の一部を再構築することによって変化に対応する。人が生きて行くとは日々「認識」＝「学習」による「新たな自我の確立」＝「創造」の繰り返しに他ならない。感性による認識と自我の再構築がスムーズに処理されて行く場合，育って行く「氣」は満ちており「元氣」のある状態で健康である。しかし，人には時にこれら一連の行為が滞る場合がある。「氣」力の衰えは自我再構築の滞り，「自我硬直症」なって発現する。次章では「教育」の持つ「自我硬直症」的体質について述べてみよう。

IV 学校「教育」における自然「学習」

これまで，主として学校「教育」の場以外の観点から，自然「学習」について述べて来たが次に「教育」における「学習」に目を向けてみよう。

古く律令制度の『令』巻第四学令第十一には「凡経。周易。尚書。周礼。儀礼。礼記。毛詩。春秋左氏伝。各為一経。孝経。論語。学者兼習之。」とあって²²⁾先人の教えを書き学ぶことが「教育」とされている。感性を閉じ知識の目だけを開く「自我硬直症」的体質の素因がここには見られるのではなかろうか。

さて、近代教育の下地となる近世の教育にその姿を求めると、『人倫訓蒙図彙』巻二（学者）には、「世俗学者と称するは儒者をいふなり。孔子の掟を守て仁義礼智信の五常より五倫の道をしへ、諸の儒教をしへ、または詩経、老荘の道をも人の乞いにしたがひて、釈し教ゆる世間出世の名師也。医は医学者、哥は哥学者、それぞれの師有なり。」¹³⁾ 「師は人の模範である。人が守り行うべき道理を教えるのである。撻って訓えるのを夏楚という。夏は榎で形はまるい。楚は荆で形は方である。二物を朴とし、これで怠忽をいましめるのである。」¹⁴⁾ とあって、近世の学問・教育は学歴偏重の時代と同様立身出世の道具¹⁵⁾、教師とは鞭を揮って知識を叩き込む技能者で、「自然に学ぶ」と言った能動的な学習の思想は微塵も存在しない。唯一の救いは八代将軍吉宗期に起こる好學の兆しである。平賀源内・近松門左衛門・・・感性の目ざめた数寄者達は、四書・五経の学習教育からとびだし、医学・自然科学・芸術文化へと好奇の目をあげ、開国・開化に向けて近代の潮流を創造し始めた¹⁷⁾。

知識の教授に自我の再構築を求めた「教育」の「自我硬直症」の体質素因は、近世になって発症し、病の様相を露呈し始めた。

近代の教育は「良き臣民の育成」¹⁶⁾ を目標として出発するが、その実体は山県有朋（1838-1922）、伊藤博文（1841-1909）らによって築かれた絶対君主・専制政治の危険思想である。（山県有朋は軍の統帥権を手中にしたのち、教育勅語**〔付録参照〕を起案、最後には危険思想取り締まりの警察権までも我が物にした。軍人勅諭と教育勅語の思想は日本を戦争へと向かわせ、そして敗戦を迎えたことは史実であり周知の事実である。危険思想の弾圧こそかくも危険な思想であったとは！）また、その教育方法にあっては近世のそれと大差がなく、教師とはあくまでも鞭を揮って知識（価値観）を叩き込み、教える者であった。度重なる戦争の歴史は「教育」の「自我硬直症」の病歴で、教育勅語は誤って盛られた一服の毒薬と評しても過言ではなからう。

敗戦後、筆者らの受けた学校教育もその方法においては（学校の校舎も戦前のものであったが・・・）同様であった。教師の思想の底には依然として旧態の「教育勅語」の価値感が存在したことを記憶している。やがて占領軍も去り高度経済成長期が到来すると、ことは更に重大となった。教育によって教授される知識の量を「学力」、 「高学歴」は高い人格とする教育ママ的発想が、瑞々しい子供たちの情感と感性をねじ曲げ、「偏差値」という名の荆の鞭が「受験戦争」へと駆り立てて行った。そのありさまは昭和四十二年度・文部省の「児童の心身障害の実体調査」成績²⁴⁾につぶさに述べられている。（紙面の関係で引用を控えたが、あまりに悲惨で書けなかったと言うのが本音である）

昭和四十年以降の「自我硬直症」の病状の変化については先のⅢ章に述べた通りである。「教える」ことに拘泥した教育の「自我硬直症」の末期的様相については、これまたⅡ章のアンケートの成績解説に見られた通りである。

V 「自我硬直症」の療治

これまで述べて来た「自我硬直症」とは漢方医学の概念に基づいた筆者の勝手な造語である。本来人の心身は周囲環境の変化に対して柔軟に反応し、自我を創造して適応する能力を持っている。この力は万物が適応し育って行く元々の気・「元氣」から作られていた

はずである。この「元氣」の衰える病気が「自我硬直症」，最初に現れる症状は誰もが知っている，あの「やる氣の無さ」である。脳の基質的变化を伴わない学童の心身障害は、登校拒否のうたがい・神経症のうたがい・かんもくのうたがいに自閉症のうたがい²⁴⁾と、全て自我が硬直して「元氣」を失い、「やる氣」の無くなった症状ばかりである。

「氣」の不足に対する薬物治療が様々に研究されている²⁶⁾。著者の経験として、専門の医師によって処方された「坑うつ剤」は明らかに有効性が認められる。しかし、処方箋なしで売られている一般の薬は、効果のほどは疑わしい。先日も「元氣が出る」と称するドリンク剤を、三本まとめて飲んで見たところ鼻血は出たが、元氣は出なかった。裏の世界の「元氣の出る薬」＝「覚醒剤」や「シンナー」も同様であろう。実際にどの様な薬物が治療に用いられているか、ある中小メーカーのパンフレットの一部分を表Iに示した。

一方、漢方医学の理論には「氣」の不足は「陰」を補ってこれを治す原則がある。それなら「自我硬直症」にはいかなる「陰」を補えば治療が可能であろうか？己の「元氣」を「陽」とすれば、これに対する万物の発する「氣」は「陰」と映る。万物の育って行く元々の「氣」＝「元氣」を取り込むことが療治である。「氣」は気体で見えない。人は万物の発する「氣」を目と耳と鼻と口と肌の五感で聴き、感性で識って心の臓に蓄えるのである。心の臓に蓄えられた「氣」はやがて陽に転じ、その人の「元氣」となって現れるとするのが、三千年の歴史を持つ漢方療治の原則である。

創造の「元氣」を失い「自我硬直症」に喘ぐ「教育」には、初等教育の「生活科」同様に、とにかくおもしろく楽しい^{3・18)}、非常に心をひかれる¹⁹⁾体験と自然に素直に感動する心²⁰⁾を処方しよう。さらに、「教育」に依って伝えられる知識(教育)は有限であるが、自然に「学ぶ」知識はまだ無限である¹⁷⁾こと、生きるとは日々自身を創造することを教えて、怪しげなヤブ¹⁴⁾獣医が書いた「自我硬直症」の処方箋としよう。

VI あとがき 大愚

誰の言葉だったか忘れましたが確か高名な禅宗のお坊さんだったと記憶しています。その人の言葉に「悟りとは大愚に似たり」とありました。自我の再構築・学びを究めて行くと、人は悟りの境地に達して何も知らない愚か者に見えるようになるのだそうです。我が家の雄猫「パーの千丸」はその名通り、どんなに教えてもとんちんかんなことをして、皆に「愚か者！」と怒られます。でも、家族全員に、いろんなことを学ばせてくれるので、千丸はもう悟りの境地に達していると思います。「自然」に「学ぶ」とは堅苦しい理屈でなく、本来こんなことではないでしょうか？。

参考文献

- 1) 倉野憲司校注、「古事記」，岩波文庫，30-001-1，1992年，岩波書店。
- 2) しにか編集室編集，特集「馬と中国文化」，月刊しにか，Vol14，No，5，1993年，大修館書店。
- 3) 堀米庸三，「ホイジンガの人と作品」，中公バックス世界の名著67。ホイジンガ，昭和54年，中央公論社。
- 4) 佐藤正英，『中世の秋』と『平家物語』，中公バックス世界の名著67。ホイジンガ付録28，昭和54年，中央公論社。

- 5) 鈴木善次・馬場政孝, 「科学技術史概論」, 昭和56年, 建帛社.
- 6) 平田 寛, 「科学の考古学」, 中公新書532, 昭和54年, 中央公論社.
- 7) 日本自然保護協会監修, 「自然観察ハンドブック」, 1991 年, 思索社.
- 8) 池見西次郎, 「心療内科」「続心療内科」, 中公新書29, 346, 中央公論社.
- 9) 石田秀実, 「中国医学思想史」, 1992 年, 東京大学出版会.
- 10) 時実利彦, 「脳の話」, 岩波新書(青版)461, 1990 年, 岩波書店.
- 11) 近藤薫樹, 「新版 集団保育とこころの発達」, 新日本選書248, 1989年, 新日本出版社
- 12) 田能村祐麒・高橋史郎, 「性と生命の教育」, 現代のエスプリ, 309号, 1993年, 至文堂
- 13) 朝倉治彦校注, 「人倫訓蒙図彙」, 東洋文庫519, 1990 年, 平凡社.
- 14) 寺島良庵, 「和漢三才図絵」, 山口大学付属図書館蔵本.
- 15) 宮崎市定, 「科举」, 中公新書15, 昭和63年, 中央公論社.
- 16) 柴田義松・竹内常一・為本六花治, 「教育学を学ぶ」, 1992 年, 有斐閣.
- 17) 「あっぱれ! 科学が花開かせた江戸の芸術」, 芸術新潮, 1992年10月号, 新潮社.
- 18) 教員養成基礎教養研究会編集, 「教員養成基礎教養シリーズ 生活科授業研究」, 1992年, 教育出版株式会社.
- 19) 室井綽, 「動物の観察」, カラーブックス555, 平成3 年, 保育社.
- 20) 日本生活科学教育学会事務局編集, 「生活科授業研究No. 27. 生活科の教材開発と授業づくり」, 1993 年, 明治図書出版.
- 21) 中条厚 「脱偏差値へ入試多様化」読売新聞1993年11月4 日 論点
- 22) 内閣文庫紅葉山文庫本「令義解」 日本思想大系「律令」復刻本 1978 年, 岩波書店
- 23) 桜井富士郎, 杉本恵子, 長嶋正和, 川原和彦, 林洋一. 「動物飼育が幼児の情緒発達に与える影響」第13回小動物臨床研究会年次大会プロシーディング 12 頁 1992 年 4 月
- 24) 玉井収介編「自閉症の実践教育」1976年 7月 教育出版.
- 25) 白水完児 暁鐘成著述 [犬狗養畜伝]. 日本獣医史学雑誌. 25:45-54頁. 平成元年.
- 26) 「精神科領域における漢方治療」. 医学のあゆみ. Vol. 166 No. 7・8 1993. 医歯薬出版

(付録)

教育ニ關スル勅語

朕惟フニ我カ皇祖皇宗國ヲ肇ムルコト宏遠ニ
徳ヲ樹ツルコト深厚ナリ我カ臣民克ク忠に克
ク孝ニ億兆心ヲ一ニシテ世々厥ノ美ヲ濟セル
ハ此レ我カ國體ノ精華ニシテ教育ノ淵源亦實
ニ此ニ存ス爾臣民父母ニ孝ニ兄弟ニ友ニ夫婦
相和シ朋友相信シ恭儉己レヲ持シ博愛衆ニ及
ホシ學ヲ修メ業ヲ習ヒ以テ智能ヲ啓發シ徳器
ヲ成就シ進テ公益ヲ廣メ世務ヲ開キ常ニ國憲
ヲ重シ國法ニ遵ヒ一旦緩急アレハ義勇公ニ奉
シ以テ天壤無窮ノ皇運ヲ扶翼スヘシ是ノ如キ
ハ獨リ朕カ忠良ノ臣民タルノミナラス又以テ
爾祖先ノ遺風ヲ顯彰スルニ足ラン

斯ノ道ハ實ニ我カ皇祖皇宗ノ遺訓ニシテ子孫
臣民ノ俱ニ遵守スヘキ所之ヲ古今ニ通シテ謬
ラス之ヲ中外ニ施シテ悖ラス朕爾臣民ト俱ニ
拳々服膺シテ威其徳ヲ一ニセンコトヲ庶幾フ

明治二十三年十月三十日

御 名 御 璽

精神神経用剤

品名	成分・規格	用法・用量	薬価 (一日量)	包装	効能・効果	識別記号
マイネートランキライザー メドボリン錠0.4 ④⑤⑥⑦ 87112	1T中 アルプラゾラム0.4mg	1日3T 3回分服 最高6T 3~4回 分服	1T 16.50 (49.50 ~99.00)	1,000T	●心身症(胃・十二指腸潰瘍、過 敏性腸症候群、自律神経失調 症)における身体症状ならびに 不安・緊張・抑うつ・睡眠障 害	SW-MON0.4 SW-026
精神安定剤 メディブス錠0.5 ④⑤⑥ 87117	1T中 エタゾラム.....0.5mg	●神経症、 うつ病 1日3回 3回分服 ●心身症、 緊張症、 躁鬱症、 器質性強 痙	1T 13.10 (26.20 ~78.60)	1,000T	●神経症における不安・緊張・ 抑うつ・神経官能症状・睡眠 障害 ●うつ病における不安・緊張・ 睡眠障害 ●心身症(高血圧症、胃・十二指 腸潰瘍)における身体症状なら びに不安・緊張・抑うつ・ 睡眠障害 ●精神分霊病における睡眠障害 ●下記疾患における不安・緊張 ・抑うつおよび器質性強 痙症、躁鬱症、器質性強痙	SW-ME0.5 SW-037
精神安定剤 メディブス錠1 ④⑤⑥ 87117	1T中 エタゾラム.....1mg	1日 1.5回 1.5回分服 ●神経症等 1日 1~3回 分服 1回	1T 22.60 (22.60 ~47.60)	1,000T	●精神分霊病における睡眠障害 ●下記疾患における不安・緊張 ・抑うつおよび器質性強 痙症、躁鬱症、器質性強痙	SW-ME1 SW-038
心身安定剤 イソクリン錠5 ④⑤⑥⑦ 87117	1T中 クロチアゼム5mg	①1日 3~6T 3回分服 ② 就寝前 または 起床前 2~3T	1T 11.10 (22.20 ~44.40)	1,000T	①心身症(消化器疾患、循環器疾 患)における身体症状ならびに 不安・緊張・心気・抑うつ・ 睡眠障害 ②躁鬱前投 薬	SW-IS5 SW-390
三環系抗うつ剤 ノーマルン10 ④⑤⑥⑦⑧ 87117	1T中 塩酸アミトリプチ ン.....10mg	① 1日 初期30~ 75mg、 150mg 増量 ② 1日 10~30mg	1T 8.10 (8.10 ~21.50)	1,000T	①精神神経症におけるうつ病・ うつ状態 ②夜尿症	SW-NO10 SW-027
三環系抗うつ剤 ノーマルン25 ④⑤⑥⑦⑧ 87117	1T中 塩酸アミトリプチ ン.....25mg	② 1日 10~30mg	1T 14.10 (5.64 ~44.64)	1,000T		SW-NO25 SW-028
マイネートランキライザー ユーバン0.5 ④⑤⑥⑦ 87112	1T中 ロラゼラム.....0.5mg	1日 2~6T 2~3回 分服	1T 6.50 (13.00 ~39.00)	1,000T	●神経症における不安・緊張・ 抑うつ ●下記疾患における不安・緊張 ・抑うつ: 自律神経失調症 心臓神経症	SW-UP0.5 SW-396
マイネートランキライザー ユーバン1.0 ④⑤⑥⑦ 87112	1T中 ロラゼラム.....1mg	1日 1~3T 2~3回 分服	1T 11.60 (11.60 ~34.80)	1,000T		SW-UP1.0 SW-397
抗潰瘍・精神用剤 ベタマックT50 ④⑤⑥⑦ 87117 87232	1T中 スルピド.....50mg	精神分 霊病の 場合 1日 6~12T うつ病・ うつ状 態の 場合 1日 3~6T	1T 14.40 (43.20 ~172.80)	1,000T	●精神分霊病 ●うつ病・うつ状態 ●胃・十二指腸潰瘍	SW-BCT50 SW-410

精神神経用剤

品名	成分・規格	用法・用量	薬価 (一日量)	包装	効能・効果	識別記号
精神神経用剤 ベタマックT100 ④⑤⑥⑦ 87117	1T中 スルピド.....100mg	精神分 霊病の 場合 1日 300 ~600mg うつ病・ うつ状 態の 場合 1日 150 ~300mg	1T 27.80 (41.70 ~164.80)	1,000T	●精神分霊病 ●うつ病・うつ状態	SW-BCT100 SW-399
精神神経用剤 ベタマックT200 ④⑤⑥⑦ 87117	1T中 スルピド.....200mg	1日 150 ~300mg	1T 40.30 (30.23 ~128.90)	1,000T		SW-BCT200 SW-398
マイネートランキライザー セルメート ④⑤⑥⑦ 87112	1T中 チキサゾラム.....10mg	1回 1~2T 1日3回 麻酔前投 薬の場合 1~2mg/kg	1T 8.30 (24.90 ~49.80)	1,000T	●神経症における不安・緊張・ 抑うつ・睡眠障害 ●心身症(消化器疾患、循環器疾 患、内分泌疾患、自律神経失調 症)における身体症状ならびに 不安・緊張・抑うつ ●麻酔前投薬	SW-SR SW-040
睡眠誘導剤・抗痙攣剤 ネルメート錠5 ④⑤⑥⑦⑧ 87112 87113	1T中 ニトラゼム.....5mg	①② 1回 1~2T 抗てんか ん剤とし て1日 1~3T	1T 10.10 (10.10 ~38.30)	1,000T	①不眠症 ②麻酔前投薬 ③真型小発作群 焦点性発作	SW-NE
精神安定剤 ジアゼパム錠2 「サワイ」 ④⑤⑥⑦ 87112	1T中 ジアゼパム.....2mg	1回 2~5mg 1日 2~4回 外来患者 は1日 15mgまで 器質性 患者には 1回 2~10mg 1日 3~4回	1T 5.70 (11.40 ~37.00)	1,000T 5,000T (PTP) 1,000T (バラ)	●神経症における不安・緊張・ 抑うつ ●下記疾患における器質性強 痙症: 脳腎臓疾患に伴う器質性・疼 痛 ●うつ病における不安・緊張 ●下記疾患における不安・緊張 ・抑うつ及び器質性強痙症: 慢性リウマチ性疾患、高血圧 症他 ●麻酔前投薬	SW-DA2 SW-021
精神安定剤 ジアゼパム錠5 「サワイ」 ④⑤⑥⑦ 87112	1T中 ジアゼパム.....5mg	1回 2~10mg 1日 3~4回	1T 6.00 (4.80 ~24.00)	1,000T		SW-DA